



桂林寺彼岸桜
 ●樹高/12m ●根まわり/5m ●目通し幹囲/3.7m
 ●枝張り南北/12m東西/14.5m

Tsuru is home to two remarkable higan-zakura (early blooming cherries), said to be several hundred years old. The flowers of these trees, which bloom one step ahead of the more widely known someiyoshino sakura, possess a delicate, and yet vital, beauty.



阿夫利神社彼岸桜
 ●樹高/8m ●枝張り南北/12m東西/9m

彼岸桜

山里にひっそりと彼岸桜咲く

ソメイヨシノよりも一足先に花を付ける彼岸桜は、まさに春を告げるにふさわしい可憐な花です。市内には、市の天然記念物に指定されている2本の彼岸桜の名木があり、それぞれ樹齢数百年を経て朽ち果てる寸前の老木に毎年健気に花を付けています。

武田一族と命運をともにして滅びた小山田氏歴代の墓所があることで知られる金井の臨濟宗桂林寺、その正面石段の上に咲く桜の木は開山格智禪師手植えの桜といわれ、樹齢数百年を経た古木を村人たちは「豊兆の桜」と言い伝え大切にしています。もう1本の桜は、玉川から与繩へ越す天神峠の麓にひっそりと建つ阿夫利神社にあります。倒れた幹の一部から芽を出して成長している植物学上興味深いもので、毎年淡紅色の花を見せてくれます。